

リスクモンスター株式会社

(東証JASDAQ上場 : 3768)

2015年3月期 決算補足資料



2015年5月19日

1. 2015年3月期 重点施策・取り組み (P.2)	21. 企業概要 (P.22)
2. 決算サマリー (P.3)	【補足】『リスモン調べ』のご紹介 (P.23)
3. 業績推移(四半期) (P.4)	【補足】書籍のご紹介 (P.24)
4. 連結セグメント別業績 (売上高) (P.5)	【補足】『JSBIZ信用調書』のご紹介 (P.25)
5. 連結セグメント別業績 (利益) (P.6)	【補足】『Pontaポイント』連携のご紹介 (P.26)
6. 与信管理サービス等 業績 (P.7)	【補足】『DMの助』のご紹介 (P.27)
7. ビジネスポータルサイト 業績 (P.8)	【補足】『J-MOTTO 新グループウェア』のご紹介 (P.28)
8. BPOサービス 業績 (P.9)	【補足】『おすすめ検索』機能のご紹介 (P.29)
9. その他サービス 業績 (P.10)	【補足】『登記簿図書館』提供のご紹介 (P.30)
10. 会員数推移(四半期) (P.11)	【補足】『カスタマーコード機能』のご紹介 (P.31)
11. 連結貸借対照表 (P.12)	【補足】『注目度表示機能』提供のご紹介 (P.32)
12. RM財務格付による財務分析 ① (P.13)	【補足】『名鑑長V』『RFIDシステム』搭載オプションのご紹介 (P.33)
13. RM財務格付による財務分析 ② (P.14)	【補足】備品管理システム「蔵番長(くらばんちょう)」のご紹介 (P.34)
14. 連結キャッシュ・フロー (P.15)	【補足】固定資産(土地及び建物)の取得について (P.35)
15. 企業理念とビジョン(P.16)	IRIに関するお問合せ (P.36)
16. 『第4次中期経営計画(2014~2015年度)』全体的な基本方針 (P.17)	
17. 『第4次中期経営計画(2014~2015年度)』事業別の基本方針 (P.18)	
18. 2016年3月期 業績予想 (P.19)	
19. コーポレート・ガバナンスの強化 (P.20)	
20. 株主のための施策 (P.21)	

1Q

2Q

3Q

4Q

中国企業の信用調書に
「RM 格付」を付与した
「JSBIZ 信用調書サービス」
提供開始

新刊
「取引先リスク管理Q&A」
出版

「クラウドコンピューティング
EXPO」出展

「Ponta」の
株式会社ロイヤリティマーケ
ティングと提携
「Pontaポイント」
提供開始

クラウド型請求書
発送代行サービス
「請求の助」機能追加

「名館長V」新サービス
「Web検索マイページ機能」
追加

RMサービス「枝番自動発行」
機能追加

「攻めモンスター」検索機能
リニューアル

企業実務サポートサービス
「わかったランド」機能追加

ダイレクトメール発送機能付
新規開拓リスト作成サービス
「DMの助(ディーエムのすけ)」
提供開始

新刊
「与信管理奮闘日記2」
出版

「日中ものづくり商談会
@上海2014」出展

「サイバックスUniv.」
新たにeラーニングを
提供開始

J-MOTTO 新グループウェア
提供開始

「e-与信ナビ」に
情報取得が必要な企業を
自動表示する
「おすすめ検索」機能追加

固定資産(土地及び建物)
取得

「名館長V」「RFID システム」
の搭載オプションを追加

倒産リスクを判別する
格付ロジック改定

法人登記情報の閲覧、
取得が可能な
「登記簿図書館」の提供開始

「リスモン・グリーンプロジェクト」
植樹 400 本を達成

JR 浜松町駅のリスモン
グループ看板をリニューアル



償却資産に含まれない
備品管理に特化したシステム
「蔵番長(くらばんちょう)」
リリース



「e-管理ファイル」
会員様独自の
「カスタマーコード」との
連携機能強化

「リスモンG」が
LINE スタンプに登場



みちのく未来基金へ
寄付の継続



リスモン調べ 随時 調査結果発表

	2014年3月期	2015年3月期	増減額	前期比
売上高	2,451,189 千円	2,599,889 千円	148,700 千円	106.1 %
営業利益	234,384 千円	241,255 千円	6,871 千円	102.9 %
経常利益	281,007 千円	267,398 千円	△13,608 千円	95.2 %
当期純利益	162,717 千円	149,675 千円	△13,042 千円	92.0 %
1株当たり当期純利益	40.40 円	36.45 円	△3.95 円	90.2 %
会員数	9,765 ID	10,093 ID	328 ID	103.4 %

◆売上高

与信管理サービス等が堅調に推移したこと、
BPOサービスが回復基調にあることや大型案件を受注したこと等により順調に推移。

◆営業利益

利益率の高いASP・クラウドサービスの売上高が堅調に推移したことや、
前期に実施した先行投資の効果等もあり前年同期を上回る。

◆経常利益

前期に保険解約返戻金28,259千円があったこと等から前年同期に比べ減少。

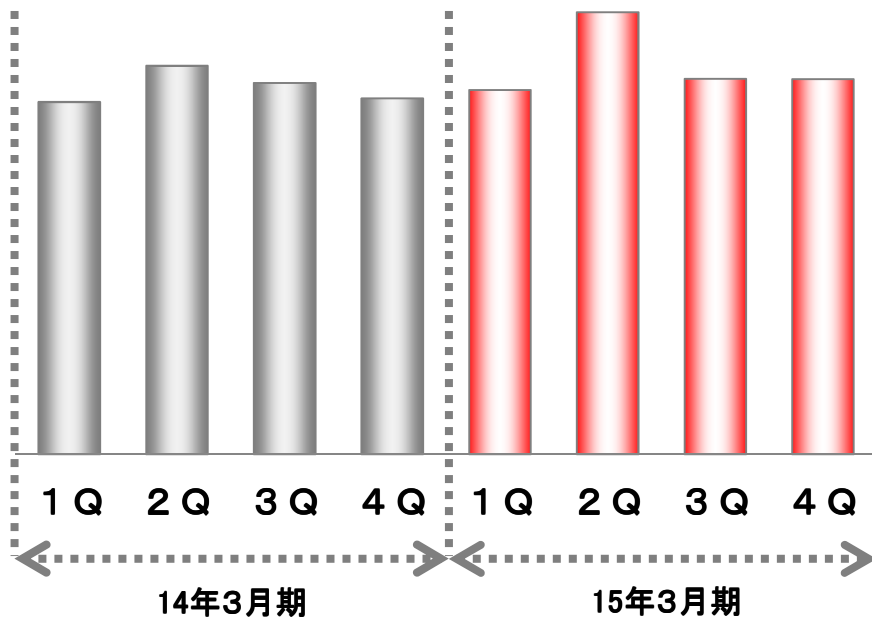
◆当期純利益

2015年5月の本社移転に伴い、当連結会計年度において特別損失を67,395千円計上したこと等から
前年同期を下回る。

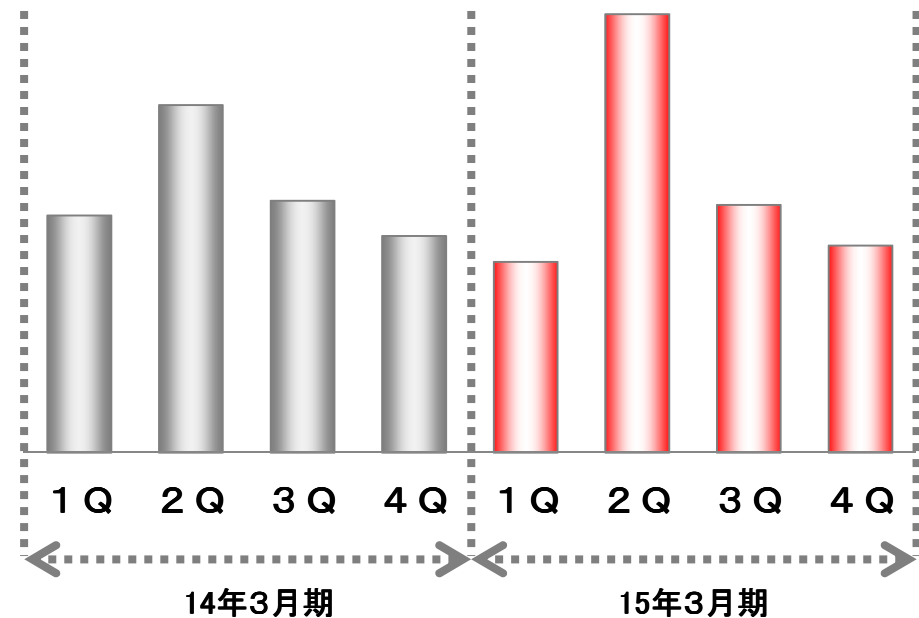
(単位 : 千円)

2014年3月期	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	588,235	648,650	620,050	594,251
営業利益	52,797	77,328	56,045	48,213
2015年3月期	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	608,493	738,205	626,851	626,339
営業利益	42,452	97,605	55,125	46,072

売上高



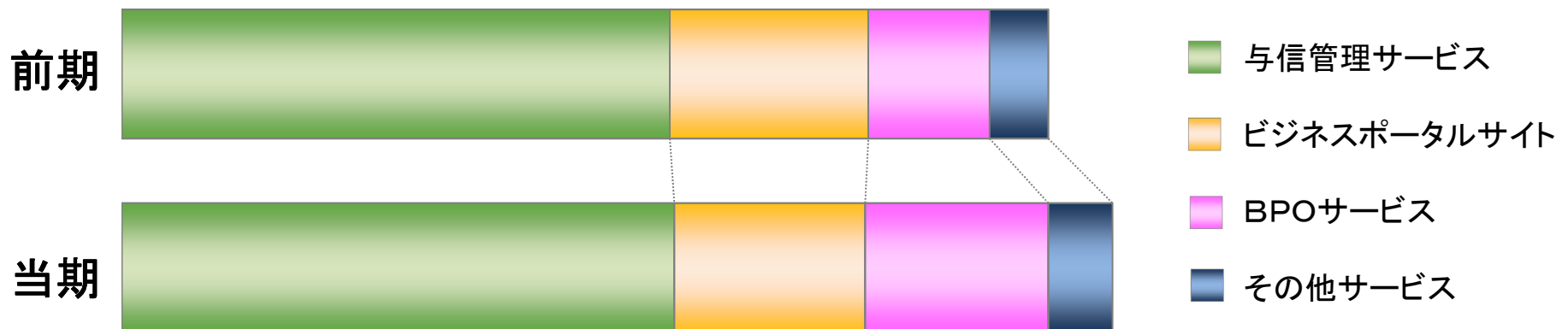
営業利益



（単位：千円）

	2014年3月期	2015年3月期	増減額	前期比
与信管理サービス等	1,493,055	1,505,158	12,102	100.8%
ビジネスポータルサイト	540,913	520,002	△20,910	96.1%
BPOサービス	330,496	499,124	168,627	151.0%
その他サービス	159,925	174,862	14,936	109.3%
調整額（注）	△73,202	△99,257	△26,054	—
売上高 計	2,451,189	2,599,889	148,700	106.1%

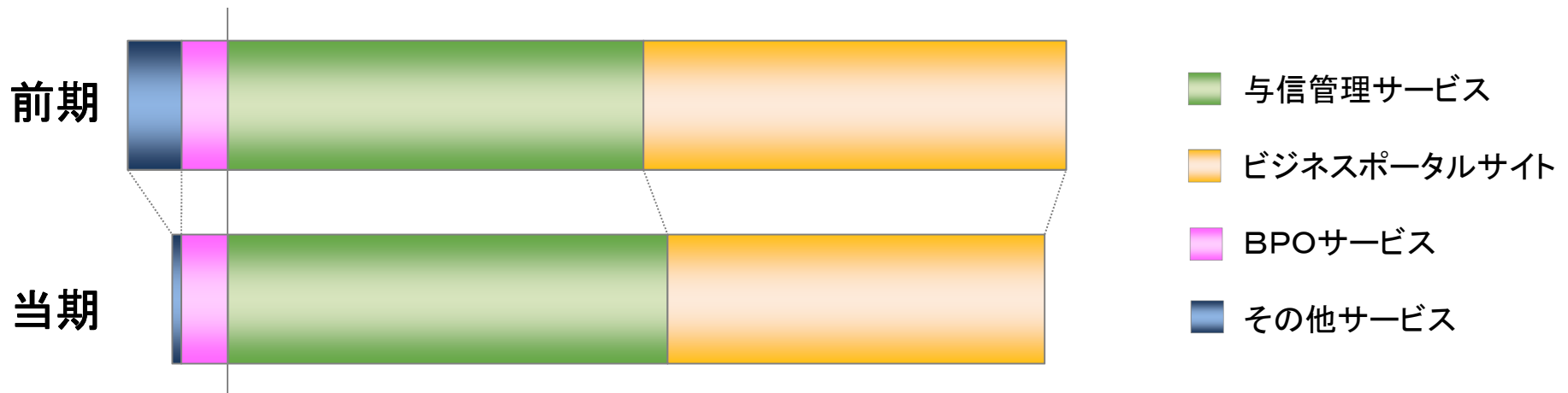
（注）調整額は、セグメント間取引消去であります。



（単位：千円）

	2014年3月期	2015年3月期	増減額	前期比
与信管理サービス等	136,493	144,415	7,921	105.8%
ビジネスポータルサイト	138,849	123,858	△14,990	89.2%
BPOサービス	△15,187	△15,315	△128	—
その他サービス	△17,697	△2,966	14,731	—
調整額（注）	△8,073	△8,735	△662	—
セグメント利益 計	234,384	241,255	6,871	102.9%

（注）調整額は、セグメント間取引消去であります。



(単位 : 千円)

	2014年3月期	2015年3月期	増減額	前期比
ASP・クラウドサービス (注1)	1,263,380	1,279,091	15,710	101.2%
コンサルティングサービス (注2)	229,674	226,066	△3,608	98.4%
売上高 計	1,493,055	1,505,158	12,102	100.8%
セグメント利益	136,493	144,415	7,921	105.8%
会員数 (ID) (注3) (内、提携会員数)	4,820 (1,745)	5,055 (1,898)	235 (153)	104.9% (108.8%)

(注1) 当社が独自に開発したシステム「RM2 Navi System」を利用して、企業信用情報提供会社の有する約260万社の企業情報の信用力を定量化し、インターネット経由で与信情報を提供するサービス

(注2) 「金融サービス」等を含むその他のサービス

(注3) インターネット等を介して与信管理サービスを利用できる会員及び提携先とのサービス相互連携を行う提携会員の合計

- ◆ 既存の取引先企業を管理するサービスの利用件数が低調だったものの、新規の取引先企業を分析するサービスの利用が好調だったことに伴い、ASP・クラウドサービスの売上高は前年同期を上回る。
- ◆ 金融サービス等を含むその他の売上高が前年同期並みで推移。
一方で、ポートフォリオサービスの受注単価は上がったものの、受注件数が前期ほど伸びず。
- ◆ 利益率の高いASP・クラウドサービスが堅調に推移したことと、前期に実施した先行投資の効果等によってセグメント利益が順調に推移。

(単位 : 千円)

	2014年3月期	2015年3月期	増減額	前期比
ASP・クラウドサービス (注1)	484,692	468,686	△16,005	96.7%
その他 (注2)	56,221	51,316	△4,904	91.3%
売上高 計	540,913	520,002	△20,910	96.1%
セグメント利益	138,849	123,858	△14,990	89.2%
会員数 (ID) (注3)	3,330	3,191	△139	95.8%
ユーザー数	125,609	123,625	△1,984	98.4%

(注1) インターネットを活用したグループウェアを中心として提供する中堅・中小企業向けビジネスポータルサイト「J-MOTTO(ジェイモット)」を利用できる会員向けサービス

(注2) ホスティングサービス等を含むその他のサービス

(注3) 「J-MOTTO(ジェイモット)」を利用できる会員及びユーザー数

- ◆ ディスク容量の利用が堅調に推移したものの、大口ユーザーの退会があり、売上高は前年同期と比べ減少。
- ◆ 固定費の削減を目的にデータセンターを移転したことに伴い一時費用を計上したこと等から、セグメント利益は前年同期を下回る。

(単位 : 千円)

	2014年3月期	2015年3月期	増減額	前期比
デジタルデータ化等 BPOサービス	330,496	499,124	168,627	151.0%
売上高 計	330,496	499,124	168,627	151.0%
セグメント利益	△15,187	△15,315	△128	—

- ◆ 主力のデジタルデータ化等BPOサービスが回復基調にあることや、大型案件を受注したこと等により売上高が前年同期に比べ増加。
- ◆ 粗利率の低い案件があったこと、グループのコストセンター機能としてコストを負担していること等から、セグメント損失となる。

(単位 : 千円)

	2014年3月期	2015年3月期	増減額	前期比
「教育関連事業」等を含む その他サービス	159,925	174,862	14,936	109.3%
売上高 計	159,925	174,862	14,936	109.3%
セグメント利益	△17,697	△2,966	14,731	—
会員数(ID) (注)	1,615	1,847	232	114.4%

(注) 定額制の新社員研修サービス「サイバックスUniv.」または中国におけるグループウェアサービス等を利用できる会員の合計

- ◆ 教育関連事業は、集合研修等一部サービスの利用が不調だったものの、定額制の社員研修サービス「サイバックスUniv.」の会員数が1,008会員となり堅調に推移。
- ◆ 利墨(上海)商務信息咨询有限公司(リスクモンスターチャイナ)が運営する中国におけるグループウェアサービス等の会員数は839会員。
- ◆ 教育関連事業が黒字となり、セグメント利益が改善。

(単位 : ID)



	2010年				2011年				2012年				2013年				2014年			
	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月
■ 与信管理サービス等	2,985	2,895	2,947	3,488	3,812	4,006	4,191	4,400	4,508	4,571	4,700	4,720	4,744	4,770	4,822	4,820	4,897	4,892	4,947	5,055
■ ビジネスポータルサイト	4,118	4,057	3,993	3,955	3,891	3,861	3,805	3,788	3,711	3,647	3,600	3,564	3,505	3,471	3,389	3,330	3,273	3,221	3,195	3,191
■ その他サービス(注2)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	272	563	1,081	1,367	1,530	1,615	1,616	1,652	1,768	1,847
会員数計	7,103	6,952	6,940	7,443	7,703	7,867	7,996	8,188	8,219	8,218	8,572	8,847	9,330	9,608	9,741	9,765	9,786	9,765	9,910	10,093

(注1) 上記は重複登録している会員が一部あります。

(注2) 定額制の新社員研修サービス「サイバックスUniv.」と中国におけるグループウェアサービス等を利用できる会員の合計

(単位 : 千円)

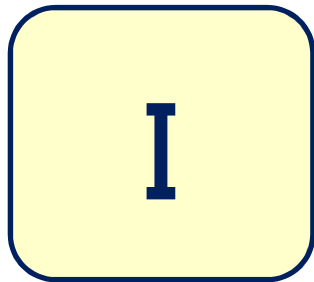
	2014年3月期	2015年3月期	増減額	前期比
流動資産	3,026,662	2,554,387	△472,274	84.4%
固定資産	1,120,481	2,287,706	1,167,225	204.2%
資産合計	4,147,143	4,842,094	694,950	116.8%
流動負債	313,281	441,300	128,019	140.9%
固定負債	41,305	549,211	507,905	1,329.6%
負債合計	354,586	990,511	635,924	279.3%
純資産	3,792,556	3,851,582	59,025	101.6%
負債・純資産合計	4,147,143	4,842,094	694,950	116.8%
自己資本比率	90.3%	78.4%	—	—
1株当たり純資産	891.16円	933.20円	42.04円	104.7%

業容拡大への対応、グループ機能の集約による効率的な業務運営の実現、固定費の削減を図るため、2015年5月の本社移転を目的とし、土地及び建物を購入(656,746千円)し、改修工事を実施(365,744千円)。また、本件に伴い金融機関より長期借入金として6億円を調達。

リスクモンスターグループ の評価（東証JASDAQ:3768）

【RM財務格付】

2015年3月期



【RM財務格付定義】

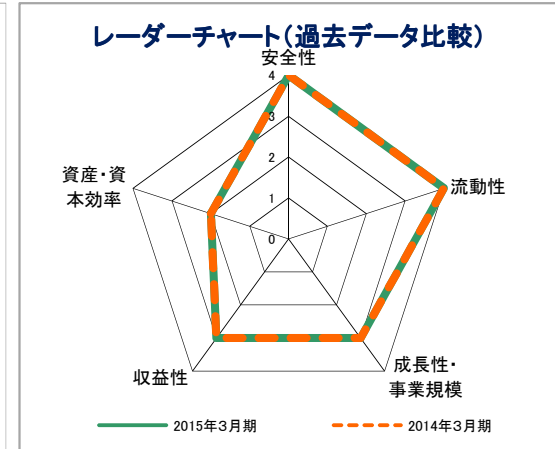
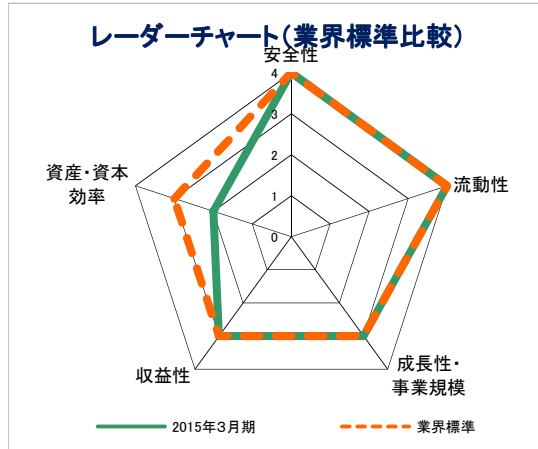
- I … 財務内容は良好です。
- II … 財務内容は概ね良好です。
- III … 財務内容にやや懸念があります。
- IV … 財務内容に大きな懸念があります。

【想定倒産確率】

- I … 0.1%
- II … 0.5%
- III … 1.0%
- IV … 3.0%

【RM財務格付履歴】

2015年3月期	2014年3月期	2013年3月期	2012年3月期
I	I	I	I
2011年3月期	2010年3月期	2009年3月期	2008年3月期
I	I	I	I
2007年3月期	2006年3月期	2005年3月期	2004年3月期
I	I	I	I



安全性	2015年3月期	☆ ☆ ☆ ☆
	2014年3月期	☆ ☆ ☆ ☆
自己資本比率	☆ ☆ ☆ ☆	
実質自己資本比率	☆ ☆ ☆ ☆	
借入金利率	☆ ☆ ☆ ☆	
借入返済年数	☆ ☆ ☆ ☆	

流動性	2015年3月期	☆ ☆ ☆ ☆
	2014年3月期	☆ ☆ ☆ ☆
流動比率	☆ ☆ ☆ ☆	
当座比率	☆ ☆ ☆ ☆	
現預金回転期間	☆ ☆ ☆ ☆	
手形割引率		

収益性	2015年3月期	☆ ☆ ☆
	2014年3月期	☆ ☆ ☆
売上高経常利益率	☆ ☆ ☆ ☆	
経常収支比率	☆ ☆ ☆ ☆	
ROA(総資産利益率)	☆ ☆	

成長性・事業規模	2015年3月期	☆ ☆ ☆
	2014年3月期	☆ ☆ ☆
売上高増減率	☆ ☆ ☆	
売上高規模	☆ ☆	
経常利益増減率	☆ ☆	

資産・資本効率	2015年3月期	☆ ☆
	2014年3月期	☆ ☆
売掛債権回転期間	☆ ☆ ☆	
棚卸資産回転期間	☆ ☆ ☆	
総資産回転率	☆	

※ 実質自己資本比率とは、資産のうち不良性の恐れのある金額を自己資本から控除した上で算出した自己資本比率です。

※ ☆☆☆☆(良い)～☆(悪い)にて表示しています。☆が表示されない項目は、評価対象外です。評価対象外となることで、コメントが表示されない場合があります。

総合評価	財政状態は良好で、財務面においては高い信用力を有しているため、不安はありません。
安全性	資本調達力は安定しており、借入償還能力も高い状態であるため、安定性の高い資金繰りが見込まれます。
流動性	十分な当座資産を有しており、資金調達力も見込まれることから、高い決済能力を有しています。
収益性	利益効率が良好であり、事業による現金創出力を有しているため、相応の収益力を有しているといえます。
成長性・事業規模	一定水準の売上規模を有しており、収益力も向上しているため、相応の収益基盤を有しているといえます。
資産・資本効率	資産内容は概ね健全であるものの、資産効率が低水準にあるため、保有資産の稼働状態を確認することをお勧めします。

当社グループの2015年3月期連結決算におけるRM財務格付は、I～IVの4段階中、最高位の「I」となった。その分析内容に関する所見は、以下のとおりである。

【貸借対照表】

グループ連結の財政状態については、本社不動産取得のための借入金発生に伴い、自己資本比率は前年度90.3%から11.9ポイント低下の78.4%となったが、依然として非常に高い安全性水準となっている。この点に関しては、個別決算においても同様であり、自己資本比率79.4%とグループ中核企業として申し分ない水準であると考えられる。

流動性に関しては、連結決算で現預金残高2,045百万円を保有し、流動比率578.8%(前期比387.3ポイント低下)、当座比率564.0%(同388.6ポイント低下)、個別決算においても流動比率547.5%(同648.6ポイント低下)、当座比率518.5%(同634.3ポイント低下)と、本社不動産の取得に伴い現金を流出したことから、前年度に比し大幅な低下がみられるものの、水準としては引き続き十分な資金繰り余力を有している。

総じて、十分な支払能力を有しており、特段の懸念もない財政状態と思料される。

【損益計算書】

連結売上高においては、前年度比106.1%の増収推移となった。これは、中核企業であるリスクモンスターの個別決算における売上高が101.0%の増収推移となったほか、BPOサービス事業や教育関連事業がそれぞれ増収推移となったことが要因であり、リスクモンスターを中心にグループ全体で収益力を高めているものといえる。

利益面においては、本社移転に伴う損失計上等の影響から、経常利益段階および当期純利益段階でそれぞれ前年度に比し減益推移となったものの、営業利益は増益に転じており、売上高営業利益率9.3%、売上高経常利益率10.3%、売上高当期純利益率5.8%と収益効率は依然として高い水準にあることから、今後も引き続き収益確保に懸念は少ないものと考えられる。

連結決算における資産効率について考察すると、ROAが前期に引き続き3.1%と、平均的な水準にとどまっている点については、ROAの構成要素である総資本回転率が0.54回と依然として低水準にあることが原因であると考えられる。今般の本社不動産を取得が総資本回転率の押し上げにつながる見込みは高くないものの、固定費の削減効果による利益創出への寄与は見込まれることから、ROAの構成要素である売上高純利益率の改善によって、ROAの上昇が期待されよう。

(単位 : 千円)

	2014年 3月期	2015年 3月期	増減額
営業活動	365,682	387,433	21,751
投資活動	△142,719	△1,372,935	△1,230,215
財務活動	150,975	464,745	313,770
現金に係る 換算差額	3,177	4,276	1,098
現金増減額	377,115	△516,479	△893,594
現期首残金高	2,184,456	2,561,571	377,115
現期末残金高	2,561,571	2,045,092	△516,479

◆営業活動

税金等調整前当期純利益	258,904
減価償却費	256,895
法人税等の支払額	△126,675

◆投資活動

有形固定資産の取得による支出	△1,064,617
投資有価証券の取得による支出	△255,662
無形固定資産の取得による支出	△232,764
投資有価証券の売却による収入	124,592

◆財務活動

長期借入れによる収入	600,000
自己株式の取得による支出	△76,362

リスクモンスター企業理念

顧客を大切にして共に繁栄しよう
プロフェッショナルリズムを繁栄の源泉にしよう

長期ビジョン(2011年～2015年)

1. ホワイトカラーの高齢化、空洞化への対応の中で、お客様が競争力を発揮できるようなサービスを提供し、頼られる企業を目指す。
2. 既存事業の収益を安定成長させながら、安定的な事業規模を目指す。
3. 海外事業、海外ネットワークを展開する。
4. 継続的な利益を確保すると同時に安定配当の基盤をつくる。

第3次中期経営計画(2011年～2013年度)

第3次中期経営計画(2011～2013)の成果と基本方針を継承・発展させるとともに、先行き不透明感に対応する。

従来の計画を1年短縮し、2ヶ年を計画期間とした

再チャレンジ「第4次中期経営計画(2014～2015年度)」策定

<p>規模・株式市場</p>	<p>既存事業の安定的な成長に加えて国内外の事業投資を拡大しながら、二部上場基準規模を目指す。</p>	
<p>財務 キャッシュ・フロー 方針</p>	<p>既存事業の安定成長基盤投資</p>	<p>➤ 営業キャッシュ・フロー内での運用。</p>
	<p>事業ごとの配分</p>	<p>➤ 経営・事業環境を勘案し柔軟に配分。</p>
	<p>新規事業投資</p>	<p>➤ 投資目標金額を設定し、積極的に投資する。</p>
<p>資本業務 提携方針</p>	<p>シナジー効果があり、プロフェッショナルなノウハウと顧客基盤を持つ企業を対象とし、長期的なビジネスパートナーとしての関係を築くことを目的とする。また、将来、継続的な利益が出るもの、目標としている内部収益率(IRR)が見込めるものとする。</p>	
<p>配 当</p>	<p>配当性向20%以上を目安に安定的な配当を目指す。</p>	

	方針	狙い
与信管理 サービス事業 	BPO事業での業務請負運営ノウハウ及びASPシステムの管理運営ノウハウを総合	会社設立来標榜する「あなたの会社のe-審査部」(与信管理アウトソーシング事業)への足がかりとする
	収益性の安定成長を最優先課題とし、独自データベースの構築やソフトウェア投資水準の適正化により固定費を圧縮	限界利益率の向上を図る
ビジネスポータル 事業 	事業の核であるグループウェアは広く一般的に利用されているソフトウェア及びハードウェアとの連携を強化	安定成長を目指す
	ポータル事業としての深化と強化を実現	サービスの浸透度を深める
BPOサービス 事業 	業務請負サービスでのシナジーの追求	グループのシナジー効果
	国内外センターのそれぞれの役割を明確にし、グループ連携と採算管理を徹底	グループ全体のコスト削減に貢献
その他事業 	新規開発投資の再開及び事業の挺入れ	継続的に利益が出る事業基盤づくりに注力



18.2016年3月期 業績予想



< 2015年3月期 決算補足資料 >

(単位 : 百万円)

	2015年3月期 実績	2016年3月期 予想	増減額	前期比
売上高	2,599	2,700	100	103.9%
営業利益	241	270	28	111.9%
経常利益	267	280	12	104.7%
当期純利益	149	140	△9	93.5%
1株当たり当期純利益	36.45円	34.41円	△2.04円	94.4%

- ◆ 会員企業様に最適のサービス・コンテンツを提供するための体制構築
- ◆ プロフェッショナルがあるサービスとわかりやすく使いやすいサービスの追求でユーザビリティと顧客満足度を向上させ、顧客単価のアップと低い退会率を維持
- ◆ 積極的なアライアンスなどによる海外事業やネットワーク強化
- ◆ 2015年5月の本社移転に伴い、グループ内の機能を集約することで固定費の削減を図り、収益確保のための体制を強化

① 監査等委員会設置会社への移行 ※

当社は、新たに創設される「監査等委員会設置会社」に移行することにいたしました。

[移行の理由]

1. 監査等委員である取締役による監査・監督に一本化され、かつ、全員が取締役会での議決権を持つことで、より効率的かつ実効的な監査・監督体制に繋がられること。
2. 業務執行取締役1名と監査等委員である取締役3名の合計4名が最小構成となり、将来的な役員体制のスリム化に繋がられること。
3. 取締役会から業務執行取締役への権限委譲を進め、取締役会を意思決定機関からモニタリング機関にシフトしていくことで、意思決定・事業展開がより一層加速できること。

中・長期での企業価値の向上のためにコーポレート・ガバナンス体制の整備・強化が重要であることを認識し、引き続き経営の透明性と客観性の向上に取り組んでまいります。

② 買収防衛策の継続 ※

当社は、2007年に制定以降、株主総会の決議により継続している「当社の財務及び事業の方針の決定を支配する者の在り方に関する基本方針」に基づき買収防衛策を継続することにいたしました。

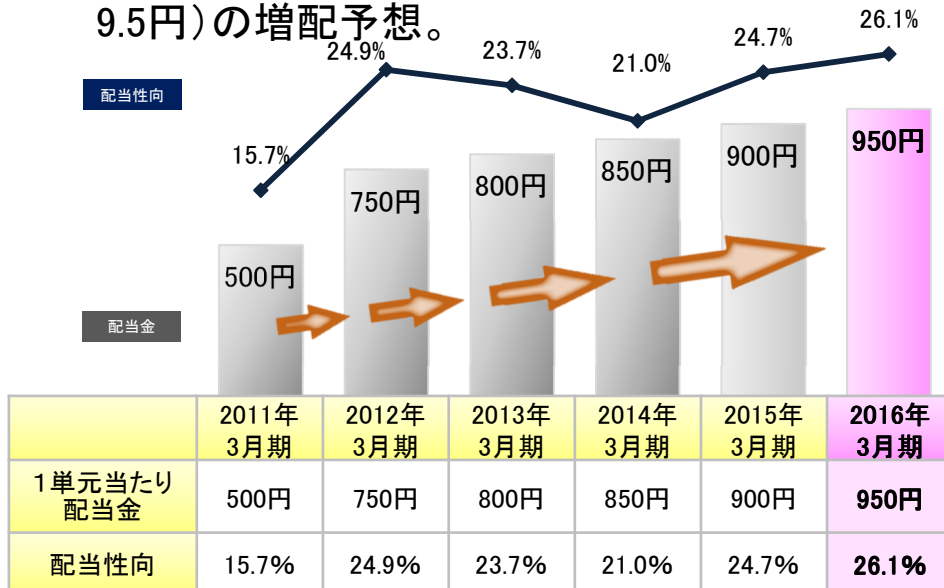
本規則は、当社取締役の自己保身等の恣意的判断が入ることを防ぎ、株主の皆様の意思を確認するための手続き等を具体的に定めております。

不適切な者によって当社の財務・事業の方針の決定が支配されることを防ぎ、企業価値・株主共同の利益を確保いたします。

※ 2015年6月25日開催予定の定時株主総会付議事項

配当金

- ◆ 当連結会計年度は当初の予定どおり、1単元当たり900円(1株当たり9円)の配当を予定。
- ◆ 株主の皆様への利益還元を重要な経営課題の一つとして位置付け、今後も継続的かつ安定的な配当の実施を目指す。
- ◆ 中長期的には配当性向20%以上を目標とする。
- ◆ 2016年3月期は1単元当たり950円(1株当たり9.5円)の増配予想。



(注) 1単元 = 100株

株主優待のご案内

毎年9月30日現在の当社株主名簿に記載または記録された株主様のうち、**6ヶ月以上当社株式を保有されており、かつ、300株以上の当社株式を保有する株主様を対象**にお好きな商品または寄付を1点お選びいただく株主優待を実施いたします。

保有期間	6ヶ月以上 1年未満	1年以上 3年未満	3年以上
所有単元数			
300株	当社指定 商品	1,500円 相当	2,000円 相当
500株		2,000円 相当	3,000円 相当
1,000株		3,000円 相当	4,000円 相当

自己株式の取得

経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を遂行するため、自己株式の取得を実施しました。

2015年3月31日時点 自己株式の保有状況

- 発行済株式総数(自己株式を除く)
4,068,700株
- 自己株式数
134,000株



21.企業概要

(2015年3月末時点)

商 号	リスクモンスター株式会社	主 事 業 内 容	与信管理サービス等 ビジネスポータルサイト BPOサービス その他サービス(教育関連事業等)
設 立	2000年9月	所 在 地	(本社) 東京都千代田区大手町2-2-1 新大手町ビル1F (大阪支社) 大阪市中央区今橋2-5-8 トレードピア淀屋橋8F (名古屋営業所) 名古屋市中村区名駅4-23-13 名古屋大同生命ビル12F (九州営業所) 福岡市博多区博多駅前4-4-15 博多駅前H44ビル4F
代 表 者	代表取締役会長 菅野 健一 代表取締役社長 藤本 太一	連 結 子 会 社	リスモン・ビジネス・ポータル株式会社 リスモン・マッスル・データ株式会社 日本アウトソース株式会社 サイバックス株式会社 利墨(上海)商務信息咨询 有限公司
資 本 金	1,155,993千円	株 式 市 場	東京証券取引所 JASDAQスタンダード 証券コード 3768
従 業 員 数	96名(連結) 67名(単体)		
株 主	株式会社東京商工リサーチ 株式会社日本M&Aセンター 藤本 太一 株式会社エヌアイデイ 株式会社SBI証券 株式会社オービックビジネスコンサルタント ゴールドマンサックスインターナショナル テクマトリックス株式会社 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) ほか		



※ 2015年5月に本社を移転しました。
(新住所) 東京都中央区日本橋2-16-5 RMGビル

リスモン調べ 調査実績

第2回
『世界に誇れる
日本企業』
調査結果発表

第2回
『独創性を感じる
日本企業』
調査結果発表

第1回
『100年後も生き残ると
思う日本企業』
調査結果発表

2014年度
『RM会員アンケート』
調査結果発表

第1回
『海外取引・進出に
関する動向』
調査結果発表

第2回
『金持ち
企業ランキング』
調査結果発表

第2回
『経営者のイメージが
強いと感じる日本企業』
調査結果発表

第4回
『この企業に勤める人と
結婚したいランキング』
調査結果発表

第3回
『お子さん／お孫さんに
勤めてほしい企業』
調査結果発表

第2回
『10年間高格付を
維持している優良企業』
調査結果発表

第2回
『仕事・会社に対する
満足度』
調査結果発表

第1回
『就職したい企業・
業種ランキング』
調査結果発表



リスモン調べとはリスモンが独自に調査するレポートです。
計12件の調査結果を発表しました。

リスクモンスター株式会社

■ 『取引先リスク管理Q&A』



設立以来、お客様から頂いた「与信管理実務に関するお問い合わせ」を収集し、お問い合わせの頻度が高い順に掲載した与信管理の実務担当者のための手引書です。

■ 『リスクはじきに目を覚ます』 第2版



独自の格付システムで企業の与信管理のあり方に一石を投じたリスモンが、情報収集の方法、決算書の見方など取引先の分析におけるイロハから、企業における与信管理体制の構築、運用方法まで、実践的な指針を記した一冊であり、企業が取り組むべき与信管理のすべてがわかる内容となっております。

■ 『与信管理奮闘日記2』



2013年9月に出版いたしました「与信管理奮闘日記」の続編です。前回に引き続き、与信管理と言う業務を堅苦しい文章を用いずにライトタッチな小説に仕上げました。本作も与信管理に関する知識のある方はもちろん、知識のない方でも与信管理の世界の一端を感じて頂きながら、スラスラとお読みいただける一冊です。

リスクモンスター株式会社

■ JSBIZ信用調書

本サービスは、中国上海の大手企業調査会社である上海傑勝商務諮詢有限公司(JSBIZ)の信用調査レポートに、リスモン独自の企業判断指標である「RM格付」をつけてご提供する海外信用調査サービスです。

■ 主な特徴

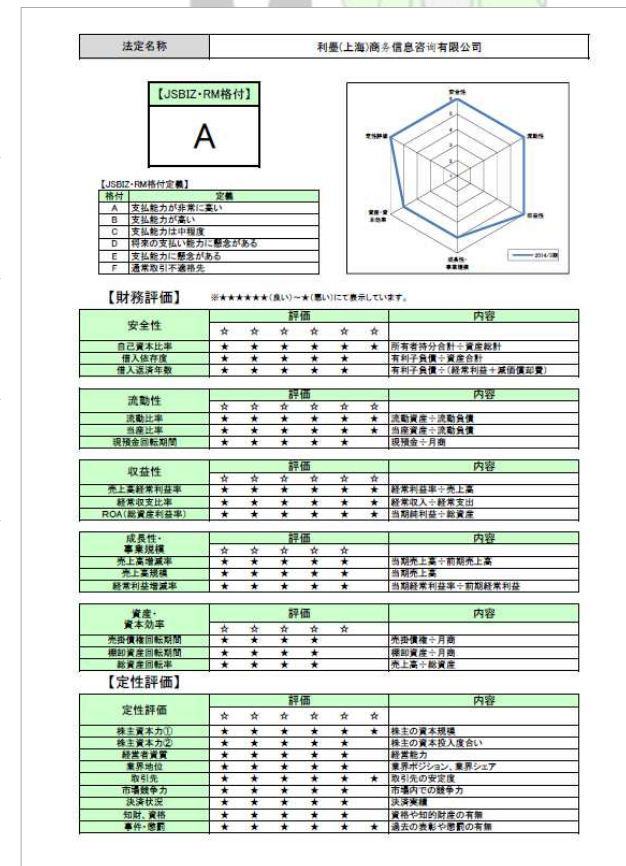
A～F格 6段階の使い慣れた指標

定量(財務)分析・定性は個別も評価

与信分析に必要な情報を網羅

日本語対応で低価格・早期納品

RM格付を導入の会員様にとっては、国内のお取引基準をそのままお使いいただくことができます！



＜ RM格付サンプル ＞

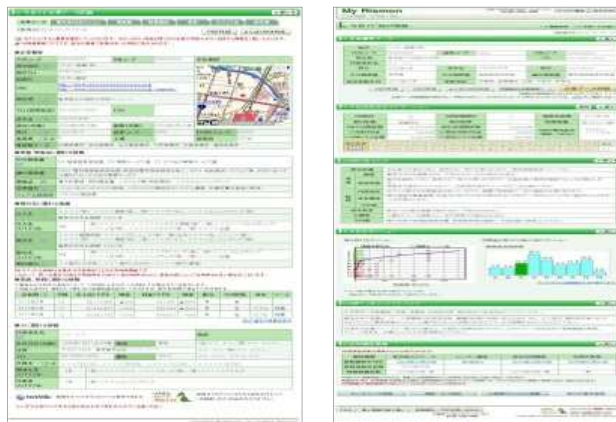
リスクモンスター株式会社

■ リスクモンスターご担当者向けポイントプログラムが『Pontaポイント』と連携

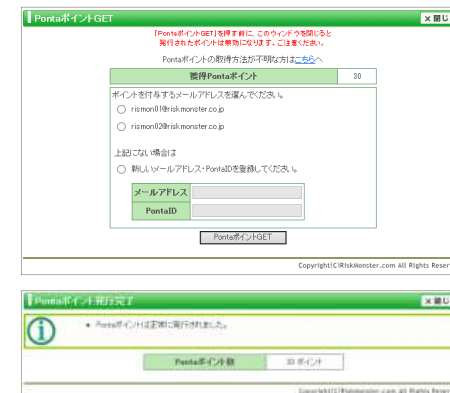
「Ponta(ポンタ)」を運営する株式会社ロイヤリティ マーケティングと提携し、リスクモンスター会員企業ご担当者様向けポイントプログラムにおいて『Pontaポイント』を導入いたしました。

■ サービス概要

リスクモンスターの企業情報サービス e-与信ナビ「格付画面」、「企業データ詳細」を1件取得していただくごとに、30ポイントの「Pontaポイント」をご利用者個人様に加算いたします。



e-与信ナビ「格付情報」「企業データ詳細」
取得



「Pontaポイント」登録

「Pontaポイント」とは？

様々なPonta提携企業で、ポイントをためる、つかうことができる共通ポイントサービスです。



リスクモンスター株式会社

■ ダイレクトメール発送機能付き新規開拓リスト作成クラウドサービス『DMの助』

本サービスは、リスモングループの持つノウハウを集約して開発した、新規開拓リスト作成からDM作成・発送依頼まで工程をWeb上で管理できるサービスです。

■ 主な特徴

- ① **いつでも** 24時間・365日お好きな時にリスト作成・DM発送依頼可能です。
- ② **どこでも** Web上で新規開拓リストの作成からDM発送依頼までを行うことができます。
- ③ **簡単に** 情報管理機能によりリスト抽出状況、DM発送ステータスが管理できます。

■ 主な機能

- ★ 新規開拓リスト作成・ダウンロード
- ★ 抽出リストへのDM発送依頼機能
- ★ 発送用リスト置き換え機能
- ★ 情報管理(リスト抽出管理、DM発送管理)



< 操作画面イメージ >

リスモン・ビジネス・ポータル株式会社

■ J-MOTTO新グループウェア

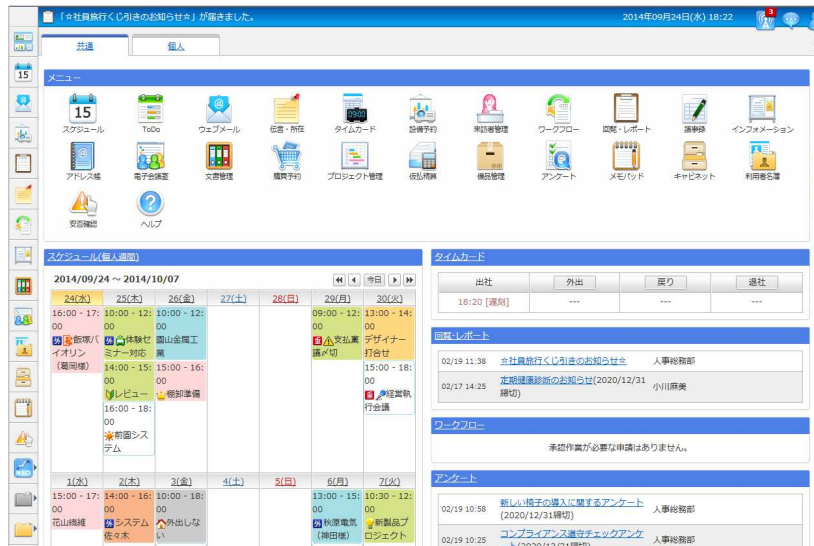
新規ご入会向けに、株式会社ネオジャパン開発の「desknet's NEO」をベースとした新しいJ-MOTTOグループウェアのお申し込みを開始いたしました。基本機能の大幅強化に加え、コミュニケーションを改革する社内ソーシャル機能などの新機能を搭載しております。

■ 主な特徴

見やすく使いやすい
インターフェース

マルチデバイス対応で
リアルタイムに情報共有

英語インターフェース &
時差対応



< 機能一例 >



< 操作画面イメージ >



リスクモンスター株式会社

■ 情報取得が必要な企業を自動表示する「おすすめ検索」機能

与信管理支援サービス「e-与信ナビ」に、会員企業様自身の過去の企業検索履歴から新たに情報取得をおすすめする企業の一覧を自動表示する機能です。

■ サービス概要

会員企業様が過去に取引開始や継続を検討するために取得した「e-与信ナビ」の履歴を元に、「取得後に企業情報に変更があり、確認が必要な企業」や「会員企業様の仕入先や販売先の可能性がある先」、または「情報取得企業の代表者関連として確認が必要な企業」など、新たに情報を取得し、内容の確認を「おすすめする」企業の一覧をTOPメニュー（MyRismonメニュー画面）に自動的に表示する機能です。



The screenshot shows the MyRismon user interface. At the top, there's a header with the company name and contact information. Below that, there are several menu items and a main content area. The 'おすすめ検索' (Recommended Search) section is highlighted with a red border. It contains a list of recommended companies, each with a link to view more details.

おすすめ検索	
検索履歴とデータ更新状況から会員様に情報をお届けしたい企業を抽出しました。	
おすすめ企業1(株)	おすすめ企業2(株)
おすすめ企業3(株)	おすすめ企業4(株)
おすすめ企業5(株)	おすすめ企業6(株)

「おすすめ検索」企業サービスイメージ
(MyRismonメニュー画面)

リスクモンスター株式会社

■ 法人登記情報の閲覧、取得が可能な「登記簿図書館」の提供を開始

株式会社情報通信ネットワークと連携し、リスモンのサービスサイトより法人登記情報提供サービス『登記簿図書館』の提供を開始いたしました。

本サービスの提供より、リスモンの企業データベースに検索企業が存在しない場合、安価かつスピーディーに検索企業の登記情報を閲覧、取得いただけますので、検索企業の存在の有無や所在地、設立年月日、資本金、営業種目、代表者・役員など、与信判断に最低限必要な情報を取得いただくことが可能になります。

■ 主な特徴

- ・法人登記情報の取得費用は1件 336円(税込み)
- ・データの取得は、PDF ファイル形式の他、データ編集が可能な CSV 形式も選択可能
- ・過去に取得した登記情報の履歴を蓄積



取得画面イメージ

リスクモンスター株式会社

■ 会員様独自の「カスタマーコード」との連携を強化

今般の機能強化により、自社の「カスタマーコード」での一覧表示やリスト検索が可能になるため、すぐに取引先の情報を引き出せるようになり、顧客情報の管理がより便利になります。

■ 主な特徴

「e-管理ファイル」画面にて、カスタマーコードで企業検索が可能になります。

「e-管理ファイル絞り込みフィルタ条件設定」画面イメージ

登録企業リスト上のコード表示を、カスタマーコードにすることができます。

選択	モニタリング	商号	前回情報	最新情報	集管理	RM与信限度額	希望限度額	700-項目	組織情報	推奨アワード
		カスタマーコード	検索日	RM格付			限度額超過			

「e-管理ファイル絞り込みフィルタ条件設定」画面イメージ

リスクモンスター株式会社

■ 検索対象企業の「注目度表示機能」

「注目度表示機能」では、「e-与信ナビ」の直近3カ月のクリック件数と検索企業をモニタリング登録している会員数を表示し、他社からの注目度を4段階で表示します。

e-与信ナビ格付情報 > e-審査辞典 > e-与信ナビの使い方

[取得日] 2015/02/16 19:05

1 企業概要データ × 閉じる

商号	リスモン商事(株)				D-VISION
TSRコード	XXXXXXXXXX	証券コード	XXXX	RMコード	XXXXXXXXXX
所在地	東京都千代田区大手町×-×-×		TEL	XX-XXXX-XXXX	
代表者氏名	×× ××				
設立	200X年X月	資本金	100,000千円	株式	東証マザーズ
大分類業種	卸売業	中分類業種	機械器具卸売業	細分類業種	電気機械器具卸売業
直近更新年月	2013年7月	更新項目	従業員、営業種目、役員、大株主、販売先		

PDF作成 CSV作成 よければPDF作成 財務格付&財務情報シート 企業データ詳細

詳細な企業情報はこちらをクリックして下さい。↑↑↑
企業データ詳細画面が開かない、印刷がおかしい、CSVがダウンロードできないなどのトラブルは、[こちら](#)をご確認ください。

2 与意思決定ナビゲーション 説明 × 閉じる

RM格付	C	RM短期傾向	↑	最新決算期	2014/08期
取引形態	売買取引	集中管理	-	財務情報	有(2014/08期)
RM与信限度額	15,829千円	貴社希望限度額	1,000千円	RM目標利益率 (継続～スポット)	9.8046~11.1725%
>>RM付当金	158千円	>>貴社RM付当金	10千円		
>>RMリスク金額	3,829千円	>>貴社リスク金額	242千円		
最近3か月間 e-与信ナビ等を開覧された回数			38回	注目度	★★★★
当社をモニタリング登録している企業数			2社		

格付変遷	13/1	13/4	13/7	13/10	14/1	14/4	14/7	14/8	14/9	14/10	14/11	14/12	現在
リテ	C↓	C↓	C↑	C↑	C↑	C↑	C↑	C↑	C↑	C↑	C↑	C↑	C↑



他社の注目度を表示します。

画面イメージ

日本アウトソース株式会社

■ 図書総合管理システム「名館長V」に「RFIDシステム」の搭載オプションを追加

これまで「名館長V」においては、図書の個別管理に一般的なバーコードを利用しておりましたが、新たに非接触型の次世代無線技術「RFIDシステム」を搭載することができるようになりました。

■ 主な特徴

① 資料の貸出／返却

専用リーダーの上に本をかざすだけ(ノータッチ)で手続き完了。複数冊同時読込みも可能な為、窓口業務が迅速化し混雑解消。また、利用者自身のセルフサービスも可能となりプライバシーの保護にもつながります。

② 蔵書点検の簡略化

蔵書点検(棚卸し)作業は一週間から一ヶ月もの期間を要する時間と人員が掛かる作業です。それがRFIDシステムの無線一体型ハンディターミナルを利用すれば、わずか1日～3日で完了し、大幅なコスト削減に繋がります。

③ 無断持ち出し防止

図書の貸出管理と連動した盗難防止ゲートシステム。無断持ち出し等の悪質な行為の減少。セキュリティの高機能化により、欧米並みの24時間開館なども可能。



「RFIDシステム」搭載機器イメージ

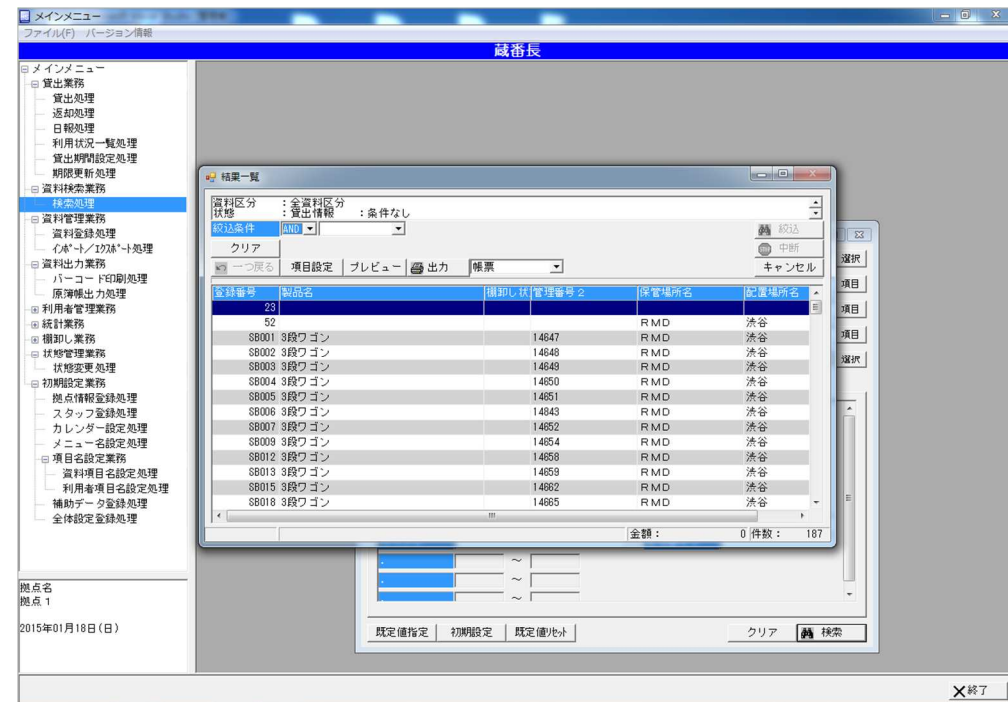
日本アウトソース株式会社

■ 償却資産に含まれない備品管理に特化した備品管理システム

償却資産に含まれない様な購入金額が10万円以下などの備品・消耗品の管理に特化し、償却資産に含まれないため、利用状況や管理状況が不透明になりがちな備品運用を可視化します。

■ 主な特徴

- ① **項目追加は自由自在**
登録する物品情報の項目の追加や名称変更などは自由に行えます。
- ② **データはそのまま**
お客様がお持ちの台帳データをそのまま一括登録することができます。
- ③ **無人運用にも対応**
利用者自身が貸出/返却作業を行う「セルフ貸出」運用を支援するオプションも豊富です。



画面イメージ

■ 固定資産(土地及び建物)の取得について

業容拡大への対応、グループ機能の集約による効率的な業務運営の実現、賃借料など固定費の削減を図るため、2015年5月の本社移転を目的とし、土地及び建物を取得、改修工事を実施いたしました。

移転に伴う諸費用が発生すること、定率法による設備の償却額が初年度は大きくなるため、本社ビル取得による利益貢献は、2015年度下期以降に寄与する見込みです。

■ リスモングループ本社移転

グループ全体の新たな拠点を伝統ある日本橋に移し、2015年5月7日(木)より営業を開始いたしました。これを機にグループ同一層業務に邁進してまいります。



本体外観



1階 エントランス



2階 エントランス

<http://www.riskmonster.co.jp>

【IRに関するお問い合わせ】

TEL : 03-6214-0352 (IR専用ダイヤル)
FAX : 03-6214-0366
Mail : ir@riskmonster.co.jp



【グループ会社ホームページ】

リスモン・ビジネス・ポータル株式会社 <https://www.j-motto.co.jp>

リスモン・マッスル・データ株式会社 <http://www.rismon-md.co.jp>

日本アウトソース株式会社 <http://www.outsource.co.jp>

サイバックス株式会社 <http://www.cybax.co.jp>

利墨(上海)商務信息咨询有限公司 <https://www.j-motto.co.jp/cn>

